

File Edit View Tools Window Help

CLIPPEDIMAGE = JP409226197A

PAT-NO: JP409226197A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 09226197 A

TITLE: INK RIBBON CASSETTE AND INK RIBBON TAKING-UP SHAFT

PUBN-DATE: September 2, 1997

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

TABUCHI, HIROSHI

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

MITSUBISHI ELECTRIC CORP

COUNTRY

N/A

APPL-NO: JP08035216

APPL-DATE: February 22, 1996

INT-CL (IPC): B41J017/32;B41J031/00 ;B41J032/00

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To reduce cost while improving workability and productivity without requiring a separate packing member by forming a housing case from a packing material and providing an openable and closable lid part formed by cutting a perforation. ■

SOLUTION: When an ink ribbon is not used, a housing case 5 functions as a packing box of an ink ribbon roll 3. When a thermal transfer recording apparatus is loaded with the ink ribbon cassette, the perforation 13 of the housing case 5 is cut to open a lid part 5a and the perforation 14 of a cutting-off hole part 5b is cut off to open a through-hole 14a. Next, the ink ribbon roll 3 is taken out of the housing case 5 and the leading end part to which a double- side adhesive tape is bonded of the ink ribbon is peeled from the ink ribbon roll 5 to again house the ink ribbon in the housing case 5 and the lid part 5a is closed. A holder is loaded with the housing case 5 and both end parts of a roll shaft are engaged with and fixed to a drive shaft. Then, the double-side adhesive tape is bonded to the predetermined position of an ink ribbon taking-up shaft.

COPYRIGHT: (C)1997,JPO

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平9-226197

(43) 公開日 平成9年(1997)9月2日

(51) Int.Cl. ⁸	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
B 4 1 J	17/32		B 4 1 J	A
	31/00			Z
	32/00			Z

審査請求 未請求 請求項の数11 O L (全 9 頁)

(21) 出願番号 特願平8-35216

(22) 出願日 平成8年(1996)2月22日

(71) 出願人 000006013

三菱電機株式会社

東京都千代田区丸の内二丁目2番3号

(72) 発明者 田淵 浩史

東京都千代田区丸の内二丁目2番3号 三

菱電機株式会社内

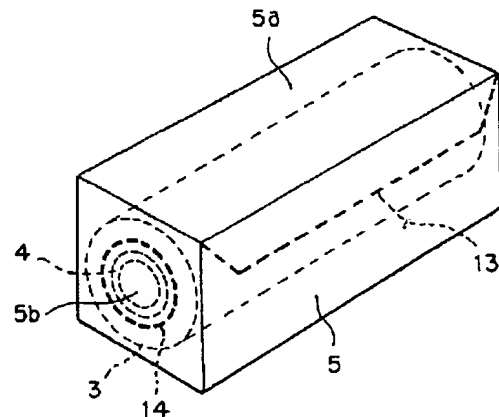
(74) 代理人 弁理士 田澤 博昭 (外2名)

(54) 【発明の名称】 インクリボンカセット及びインクリボン巻き取り軸

(57) 【要約】

【課題】 別途の梱包部材やインクリボンの高価な固定手段を必要としてコスト高となり、インクリボンカセット装填の作業性が良くないなどの課題があった。

【解決手段】 収納ケース5は、梱包用資材により形成し、かつ、ミシン目13を切り離すことによって開閉可能な蓋部5aを有すると共に、ロール軸4の両端部に対向する面には、ミシン目14を切り離すことによって貫通穴を形成する切り取り穴部5bを有し、インクリボン12の先端部には、所定回数の貼付と剥離を行える両面粘着テープ15を設けて構成した。



3 : インクリボンロール
 4 : ロール軸
 5 : 収納ケース
 5a : 蓋部
 5b : 切り取り穴部
 13, 14 : ミシン目

【特許請求の範囲】

【請求項1】 ロール軸にインクリボンを巻装してなるインクリボンロールと、該インクリボンロールを収納する収納ケースとを有したインクリボンカセットにおいて、前記収納ケースは梱包用資材により形成され、ミシン目を切り離すことによって形成する開閉可能な蓋部を備えたことを特徴とするインクリボンカセット。

【請求項2】 インクリボンの先端部に貼付と剥離を行える粘着部材を設けたことを特徴とする請求項1記載のインクリボンカセット。

【請求項3】 ロール軸にインクリボンを巻装してなるインクリボンロールと、該インクリボンロールを収納する収納ケースとを有したインクリボンカセットにおいて、前記収納ケースは前記インクリボンを該収納ケースの外部に引き出す開口部を有し、前記インクリボンはその先端部に貼付と剥離を行う粘着部材を有し、未使用時には前記開口部付近において該粘着部材により仮止めされることを特徴とするインクリボンカセット。

【請求項4】 収納ケースの外表面のうち、少なくともインクリボンの先端部が仮止めされる部分には、粘着部材の剥離を容易にする弱粘着面を形成したことを特徴とする請求項3記載のインクリボンカセット。

【請求項5】 粘着部材の設けられたインクリボン先端部のさらに先端部側に摘み部を設けたことを特徴とする請求項2から請求項4のうちのいずれか1項記載のインクリボンカセット。

【請求項6】 収納ケースはロール軸の両端部に対向する面のミシン目を切り離すことによって貫通穴を形成する切り取り穴部を有し、該切り取り穴部にロール軸の端部を保持する切り起こし部を設けたことを特徴とする請求項1から請求項5のうちのいずれか1項記載のインクリボンカセット。

【請求項7】 粘着部材として両面粘着テープを使用し、該両面粘着テープの一方の粘着面をインクリボンの先端部に貼付したことを特徴とする請求項2から請求項6のうちのいずれか1項記載のインクリボンカセット。

【請求項8】 インクリボンの先端部に予め貫通穴を設けると共に、粘着部材として片面粘着テープを使用し、該片面粘着テープの粘着面で前記貫通穴を塞ぐように該インクリボンの先端部に貼付したことを特徴とする請求項2から請求項6のうちのいずれか1項記載のインクリボンカセット。

【請求項9】 粘着部材として、インクリボン面に印刷して形成する印刷糊を使用したことを特徴とする請求項2から請求項6のうちのいずれか1項記載のインクリボンカセット。

【請求項10】 先端部に粘着部材が設けられロール軸に巻装されたインクリボンの該先端部を、位置決めして貼付するために、軸心方向と平行となる位置に位置決め用の印を設けたことを特徴とするインクリボン巻き取り

軸。

【請求項11】 インクリボン巻き取り軸の外表面のうち、少なくともインクリボンの粘着部材が貼付される部分には、該粘着部材の剥離を容易にする弱粘着面を形成したことを特徴とする請求項10記載のインクリボン巻き取り軸。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、インクリボンを供給するために熱転写記録装置等に装填され、インクリボンロールを収納するインクリボンカセットに関し、また、供給された該インクリボンを巻き取るインクリボン巻き取り軸に関するものである。

【0002】

【従来の技術】図15は、例えば特開平5-96805号公報に開示された従来のインクリボンカセットを示す斜視図、図16は従来のインクリボン巻き取り軸を示す正面図、図17は従来のインクリボンカセットを熱転写記録装置に装填する際の組立斜視図である。図において、1はリーダー部、2はリーダー部1の先端部、3はインクリボン12をロール軸4に巻装してなるインクリボンロール、5はインクリボンロール3を収納するために箱状に形成され、インクリボン12を外部に引き出すための開口部を有した収納ケースである。またこの収納ケース5には、側面部のロール軸4に対向する位置に貫通穴が設けられている。このようにインクリボンカセットはインクリボンロール3と収納ケース5とから構成されている。6は収納ケース5から供給されるインクリボン12を巻き取るインクリボン巻き取り軸であり、均一に巻き取るために螺旋状の段差面6aが設けられている。7はインクリボン12の先端部2を挿入すると共に、インクリボン巻き取り軸6を駆動させる駆動軸10aと係合させる切り込み、8は駆動軸10bと係合させるためにインクリボン巻き取り軸6の他端に設けられた切り込み、9は収納ケース5を保持するホルダー、11a及び11bはロール軸4を回転させるために該ロール軸4と係合可能に形成された駆動軸であり、図示しない駆動源と連結されている。

【0003】次に動作について説明する。図17に示すように、収納ケース5の装填手順は、まず、インクリボン巻き取り軸6を駆動軸10a、10bに係合固定し、次に収納ケース5をホルダー9に装着して、ロール軸4の両端部を駆動軸11a、11bに係合固定する。そして、インクリボン12のリーダー部1を収納ケース5から所定の長さ引き出し、先端部2をインクリボン巻き取り軸6の切り込み7に挿入する。

【0004】インクリボン12の巻き取りは、駆動軸10a、10bの回転に従って、まずリーダー部1が巻き取られ、続いてインクリボン12が巻き取られる。なお、駆動軸11a、11bには、図示しないブレーキ手

段によってブレーキが掛けられるため、インクリボン12は所定の張力を受けながら巻き取られることになる。

【0005】なお、従来の他の技術として、例えば特開平2-204074号公報に開示された技術があり、インクフィルムとロール軸を装着時と同形態で収納保持するパッケージとし、高価な使い捨てカートリッジを不要にするものとして提供されている。

【0006】また、実開平5-16343号公報に開示された技術にあっては、コンパクトな梱包を実現するべく、インクリボン巻体と巻取用コアとを一体的に梱包した構成が提供されている。

【0007】

【発明が解決しようとする課題】従来のインクリボンカセットは以上のように構成されているので、例えば特開平5-96805号公報に開示された技術にあっては、リーダー部1の先端部2を曲げ加工し、その強度でインクリボン12に掛かる張力を支えなくてはならず、特殊な材料を用いるために高価になる課題があった。また、このインクリボンカセットと共に使用されるインクリボン巻き取り軸6には、巻き取り時におけるしわの発生を防止するために、所定の段差面6aの形成を要したり、巻き取りのための切り込み7等を設けなくてはならず、生産コストが高くなる課題があった。

【0008】さらに、特開平2-204074号公報や実開平5-16343号公報等に開示された技術にあっては、別途の梱包部材を必要としてコスト高となったり、インクリボンの着脱が必ずしも容易でないなどの課題があった。

【0009】この発明は上記のような課題を解決するためになされたもので、廉価であり、かつ作業性及び生産性の向上するインクリボンカセットを得ることを目的とする。

【0010】また、この発明は廉価であり、かつ作業性及び生産性の向上するインクリボン巻き取り軸を得ることを目的とする。

【0011】

【課題を解決するための手段】請求項1記載の発明に係るインクリボンカセットは、収納ケースは梱包用資材により形成され、ミシン目を切り離すことによって形成する開閉可能な蓋部を備えて構成したものである。

【0012】請求項2記載の発明に係るインクリボンカセットは、インクリボンの先端部に貼付と剥離を行える粘着部材を設けて構成したものである。

【0013】請求項3記載の発明に係るインクリボンカセットは、収納ケースはインクリボン該収納ケースの外部に引き出す開口部を有し、前記インクリボンはその先端部に貼付と剥離を行う粘着部材を有し、未使用時には前記開口部付近において該粘着部材により仮止めされるように構成したものである。

【0014】請求項4記載の発明に係るインクリボンカ

セットは、収納ケースの外表面のうち、少なくともインクリボンの先端部が仮止めされる部分には、粘着部材の剥離を容易にする弱粘着面を形成して構成したものである。

【0015】請求項5記載の発明に係るインクリボンカセットは、粘着部材の設けられたインクリボン先端部のさらに先端部側に摘み部を設けて構成したものである。

【0016】請求項6記載の発明に係るインクリボンカセットは、収納ケースはロール軸の両端部に対向する面のミシン目を切り離すことによって貫通穴を形成する切り取り穴部を有し、該切り取り穴部にロール軸の端部を保持する切り起こし部を設けて構成したものである。

【0017】請求項7記載の発明に係るインクリボンカセットは、粘着部材として両面粘着テープを使用し、該両面粘着テープの一方の粘着面をインクリボンの先端部に貼付して構成したものである。

【0018】請求項8記載の発明に係るインクリボンカセットは、インクリボンの先端部に予め貫通穴を設けると共に、粘着部材として片面粘着テープを使用し、該片面粘着テープの粘着面で前記貫通穴を塞ぐように該インクリボンの先端部に貼付して構成したものである。

【0019】請求項9記載の発明に係るインクリボンカセットは、粘着部材として、インクリボン面に印刷して形成する印刷糊を使用して構成したものである。

【0020】請求項10記載の発明に係るインクリボン巻き取り軸は、先端部に粘着部材が設けられロール軸に巻装されたインクリボンの該先端部を、位置決めして貼付するために、軸心方向と平行となる位置に位置決め用の印を設けて構成したものである。

【0021】請求項11記載の発明に係るインクリボン巻き取り軸は、インクリボン巻き取り軸の外表面のうち、少なくともインクリボンの粘着部材が貼付される部分には、該粘着部材の剥離を容易にする弱粘着面を形成して構成したものである。

【0022】

【発明の実施の形態】以下、この発明の実施の一形態を説明する。なお、上記従来技術の説明における図15から図17で示したものに相当する部分には同一符号を付し、その説明を省略若しくは簡略化する。

【0023】実施の形態1. 図1はこの発明の実施の形態1によるインクリボンカセットの未使用状態を示す斜視図、図2はインクリボンロールの未使用状態を示す斜視図、図3は蓋部を開いた状態のインクリボンカセットを示す斜視図、図4はインクリボンの先端部をインクリボンロールから剥した状態を示す斜視図、図5は蓋部を閉じた状態のインクリボンカセットを示す斜視図、図6はインクリボンカセットを熱転写記録装置等に装填する時の組立斜視図、図7はインクリボン巻き取り軸を示す斜視図である。図において、3はロール軸4にインクリボン12を巻装してなるインクリボンロール、5はイン

クリボンロール3を収納するために、インクリボンロール3よりも若干大きめの箱状に形成された収納ケースであり、これらインクリボンロール3と収納ケース5とからインクリボンカセットが構成されている。

【0024】この収納ケース5は、例えば厚紙、段ボール等の梱包用資材により形成され、インクリボンロール3の梱包箱としても機能するものである。そして、天井面を画する位置にはミシン目13を形成してあり、このミシン目13を切り離すことによって開閉可能な蓋部5aを有している。また、収納されたインクリボンロール3のロール軸4の両端部に対向する面には、円形のミシン目14を形成してあり、このミシン目14を切り離すことによって貫通穴14aを形成可能な切り取り穴部5bを有している。

【0025】6は収納ケース5から供給されるインクリボン12を巻き取るために、円筒状に形成されたインクリボン巻き取り軸であり、両端部には駆動軸10a、10bと係合可能な従来技術と同様の所定の切り欠きを有している。また、このインクリボン巻き取り軸6は、図7に示すように、軸心19方向と平行となる位置に位置決め用の印20を設けてある。

【0026】さらに、インクリボン巻き取り軸6の表面には、両面粘着テープ等の粘着部材の剥離を容易にする弱粘着面を形成してあり、例えば、高分子材料等でラミネート加工を施してある。なお、インクリボン巻き取り軸6の材質は、紙、プラスチック、金属等、特に限定されないが、例えば、金属により製作すれば、上記ラミネート加工を施さなくても、弱粘着面を形成できる。

【0027】15はインクリボン12の先端部の幅方向に貼付され、所定回数の貼付と剥離を行える両面粘着テープ（粘着部材）である。すなわち、この両面粘着テープ15は、その一方の粘着面をインクリボン12の先端部に貼付して設けられており、使用前においては、図2に示すように、他方の粘着面をインクリボンロール3に貼付してある。

【0028】次に動作について説明する。図1に示すように、インクリボンカセットの未使用時においては、インクリボンロール3の梱包箱として機能している。図示しない熱転写記録装置等にインクリボンカセットを装填する際には、次の手順を経る。すなわち、図3に示すように、収納ケース5のミシン目13を切り離して蓋部5aを開くと共に、切り取り穴部5bのミシン目14を切り取って、貫通穴14aを開口する。次に、収納ケース5からインクリボンロール3を取り出す。このとき、インクリボン12は、図2に示すように、両面粘着テープ15によってインクリボンロール3に貼付されている。このインクリボン12の先端部をインクリボンロール3から剥がし、図4に示す状態にした後、再び収納ケース5に収納し、蓋部5aを閉じると、図5に示す状態となる。

【0029】次に、インクリボン巻き取り軸6を駆動軸10a、10bに装着すると共に、収納ケース5をホルダー9に装填して、ロール軸4の両端部を駆動軸11a、11bに係合固定する。

【0030】そして次に、インクリボン12の先端部に設けられた両面粘着テープ15を、位置決め用の印20で位置決めしながら、インクリボン巻き取り軸6に貼付する。なお、貼付位置にずれ等が生じた場合には、両面粘着テープ15を剥して、再度、貼付し直せばよい。

【0031】以上でインクリボンカセットの装填が完了する。インクリボン12の巻き取りは、駆動軸10a、10bの回転に従って順次行われる。なお、駆動軸11a、11bには、図示しないブレーキ手段によってブレーキが掛けられるため、インクリボン12は所定の張力を受けながら巻き取られることになる。

【0032】以上のように、この実施の形態1によれば、収納ケース5が梱包用資材により形成され、インクリボンロール3の梱包箱としても機能しており、かつ、インクリボン12の使用時にはミシン目13、14を切り離すことによって容易に所定の開口を得て使用できるので、別途の梱包部材を必要とせず、廉価で、かつ作業性及び生産性の良いインクリボンカセットを得ることができる。

【0033】また、インクリボン12の先端部に、所定回数の貼付と剥離を行える両面粘着テープ15を設け、インクリボン巻き取り軸6に位置決め用の印20を設けたことにより、迅速かつ正確にインクリボン12の装着ができるため、作業性が向上し、インクリボン12のしわの発生も防止できる。

【0034】さらに、インクリボン巻き取り軸6の表面には弱粘着面を形成してあるので、インクリボン12の貼付に失敗しても、容易に剥離できる。

【0035】また、インクリボン12には従来のようなリーダー部1等を不要とし、インクリボン巻き取り軸6に巻き取りのための切り込み7を設ける必要がないので、廉価なインクリボンカセットとインクリボン巻き取り軸6を提供することができる。

【0036】なお、収納ケース5は厚紙等の梱包用資材により形成してあるので、材料コスト、加工コストを著しく低減できると共に軽量化が図れ、しかも使用後は焼却または再利用できる利点があることは言うまでもない。

【0037】従って、この実施の形態1によれば、廉価であり、かつ作業性及び生産性の向上するインクリボンカセット及びインクリボン巻き取り軸6を得ることができる。

【0038】実施の形態2. 図8はこの発明の実施の形態2による摘み部を設けたインクリボンロールを示す斜視図であり、図において、12aは実施の形態1におけるインクリボン12の先端部のさらに先端部側に形成さ

れた摘み部であり、両面粘着テープ15のインクリボン12への貼付位置を先端から反先端側に若干ずらして形成したものである。この摘み部12aの幅は、両面粘着テープ15の貼付及び剥離を行う際に、指で摘める程度に形成されている。その他の構成は、実施の形態1の場合と同様である。

【0039】以上のように、この実施の形態2によれば、インクリボン12をインクリボンロール3から剥がす時に、摘み部12aを摘むことによって、容易に行うことができる効果がある。なお、動作例やその他の効果は、実施の形態1の場合と同様であるので、説明を省略する。

【0040】実施の形態3。図9はこの発明の実施の形態3による貫通穴を設けたインクリボンに片面粘着テープを貼付する状態を示す組立斜視図であり、図において、16はインクリボン12の先端部に予め穿設された複数個の貫通穴、17は片面粘着テープ（粘着部材）である。この片面粘着テープ17は、粘着面側で貫通穴16を塞ぐようにインクリボン12に貼付してある。すなわち、片面粘着テープ17はインクリボン12に貼付されると同時に、貫通穴16の開口部を塞いだ粘着面が、貼付対象物との粘着を担うものである。その他の構成は、実施の形態1の場合と同様である。

【0041】以上のように、この実施の形態3によれば、両面粘着テープ15よりも安価な片面粘着テープ17を用いて、実施の形態1の場合と同様の効果を得ることができるので、より安価なインクリボンカセットを得られる効果がある。なお、動作例やその他の効果は、実施の形態1の場合と同様であるので、説明を省略する。

【0042】実施の形態4。図10はこの発明の実施の形態4による印刷糊を設けたインクリボンロールを示す斜視図であり、図において、18はインクリボン12に印刷して形成可能ないわゆる印刷糊（粘着部材）であり、図示しないインクリボンの原反（ジャンボロール）からインクリボンロール3を製造する過程において形成するものである。すなわち、実施の形態1における両面粘着テープ15の代わりに採用した粘着部材であり、その他の構成は、実施の形態1の場合と同様である。

【0043】以上のように、この実施の形態4によれば、糊付け作業の機械化が容易な印刷糊18を粘着部材として採用したことにより、実施の形態1の場合と同様の効果を奏しつつ、より安価なインクリボンカセットを得られる効果がある。なお、動作例やその他の効果は、実施の形態1の場合と同様であるので、説明を省略する。

【0044】実施の形態5。図11はこの発明の実施の形態5によるインクリボンが収納ケースに貼付された状態を示す斜視図、図12はインクリボンを収納ケースから剥して引き出した状態を示す斜視図であり、図において、21はインクリボン12を収納ケース5の外部に引

き出すために開けられた長方形の開口部であり、インクリボンロール3の幅よりも若干大きめに形成されている。また、この開口部21下側の開口周縁部には、粘着部材の剥離を容易にする弱粘着面を形成してあり、例えば、高分子材料等でラミネート加工を施してある。なお、かかるラミネート加工は、収納ケース5の全表面に施してももちろん良い。このようにラミネート加工を施した部分には、インクリボン12の両面粘着テープ15が貼付されており、これによりインクリボン12の先端部が仮止めされている。

【0045】以上のように、実施の形態1の場合における蓋部5aが形成されない代わりに、開口部21が設けられ、未使用状態においてインクリボン12の先端部が仮止めされている点において、実施の形態1の構成と異なるものであり、その他の構成は同様である。

【0046】次に動作について説明する。インクリボン12をインクリボン巻き取り軸6に装着するときに、仮止めされたインクリボン12の両面粘着テープ15を収納ケース5から剥して、インクリボン12を収納ケース5から引き出すのみでよい点において、実施の形態1と異なる。

【0047】以上のように、この実施の形態5によれば、予めインクリボン12が収納ケース5に仮止めされているため、実施の形態1のように、装填時にインクリボンロール3を収納ケース5から取り出したり、インクリボンロール3をほどく手間が省け、操作性がより改善される効果がある。

【0048】また、収納ケース5のインクリボン12を仮止める部分には、ラミネート加工を施してあるので、使用時において容易に剥離できるという効果もある。

【0049】実施の形態6。図13はこの発明の実施の形態6による切り起こし部の形成されたインクリボンカセットの未使用状態を示す斜視図、図14は切り起こし部の切り起こしの前後の状態を示す部分斜視図であり、図において、22は切り取り穴部5bのほぼ上半分に、逆U字状の切り欠き穴5cを設けることにより形成され、ロール軸4の内方に向かって折曲し挿入することにより、ロール軸4の端部を保持可能に形成された切り起こし部である。この切り起こし部22の大きさは、ロール軸4端部の内周面に合致するように形成されている。なお、その他の構成は、実施の形態5の場合と同様である。

【0050】次に動作について説明する。切り起こし部22をロール軸4の内方に向かって折曲して挿入することにより、ロール軸4の端部を保持する。これにより、インクリボンカセットの輸送時において、インクリボン12の弛みや破損等を防止できる。また、インクリボンカセットを熱転写記録装置等に装填する際には、ミシン目14を切り離すことによって、切り取り穴部5bと共

に容易に排除できる。なお、その他の動作は、実施の形態5の場合と同様である。

【0051】以上のように、この実施の形態6によれば、インクリボンカセットの輸送時において、インクリボン12の弛みや破損等を防止でき、より高品位のインクリボンカセットを提供することができる効果がある。

【0052】なお、上記インクリボン12の摘み部12a、切り起こし部22等を、上述した各実施の形態において、併用することももちろん可能である。

【0053】

【発明の効果】以上のように、請求項1記載の発明によれば、収納ケースは梱包用資材により形成され、ミシン目を切り離すことによって形成する開閉可能な蓋部を備えるように構成したので、別途の梱包部材を必要とせず、廉価で、かつ作業性及び生産性の良いインクリボンカセットを得ることができる効果がある。

【0054】請求項2記載の発明によれば、インクリボンの先端部に貼付と剥離を行える粘着部材を設けるように構成したので、インクリボンの装填及び交換が容易かつ迅速に行えるインクリボンカセットを得ることができる効果がある。

【0055】請求項3記載の発明によれば、収納ケースはインクリボンを該収納ケースの外部に引き出す開口部を有し、前記インクリボンはその先端部に貼付と剥離を行う粘着部材を有し、未使用時には前記開口部付近において該粘着部材により仮止めされるように構成したので、装填時にインクリボンロールを収納ケースから取り出したり、インクリボンロールをほどく手間が省け、作業性がより改善される効果がある。

【0056】請求項4記載の発明によれば、収納ケースの外表面のうち、少なくともインクリボンの先端部が仮止めされる部分には、粘着部材の剥離を容易にする弱粘着面を形成するように構成したので、インクリボンの先端部の剥離が容易となり、作業性がより改善される効果がある。

【0057】請求項5記載の発明によれば、粘着部材の設けられたインクリボン先端部のさらに先端部側に摘み部を設けるように構成したので、インクリボン先端部を容易に摘んで貼付及び剥離作業ができ、作業性がより改善される効果がある。

【0058】請求項6記載の発明によれば、収納ケースはロール軸の両端部に対向する面のミシン目を切り離すことによって貫通穴を形成する切り取り穴部を有し、該切り取り穴部にロール軸の端部を保持する切り起こし部を設けて構成したので、インクリボンカセットの輸送時において、インクリボンの弛みや破損等を防止でき、より高品位のインクリボンカセットを提供できる効果がある。

【0059】請求項7記載の発明によれば、粘着部材として両面粘着テープを使用し、該両面粘着テープの一方

の粘着面をインクリボンの先端部に貼付するように構成したので、インクリボン先端部の貼付及び剥離作業が容易にできる効果がある。

【0060】請求項8記載の発明によれば、インクリボンの先端部に予め貫通穴を設けると共に、粘着部材として片面粘着テープを使用し、該片面粘着テープの粘着面で前記貫通穴を塞ぐように該インクリボンの先端部に貼付するように構成したので、両面粘着テープよりも安価な片面粘着テープが使用でき、生産コストをより削減できる効果がある。

【0061】請求項9記載の発明によれば、粘着部材として、インクリボン面に印刷して形成する印刷糊を使用するように構成したので、糊付け作業の機械化が容易となって、より安価なインクリボンカセットを得られる効果がある。

【0062】請求項10記載の発明によれば、先端部に粘着部材が設けられロール軸に巻装されたインクリボンの該先端部を、位置決めして貼付するために、軸心方向と平行となる位置に位置決め用の印を設けるように構成したので、迅速かつ正確にインクリボンの装着ができるため、作業性が向上し、インクリボンのしわの発生も防止できる効果がある。

【0063】請求項11記載の発明によれば、インクリボン巻き取り軸の外表面のうち、少なくともインクリボンの粘着部材が貼付される部分には、該粘着部材の剥離を容易にする弱粘着面を形成するように構成したので、インクリボンの貼付に失敗しても、容易に剥離でき、作業性が良くなる効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】 この発明の実施の形態1によるインクリボンカセットの未使用状態を示す斜視図である。

【図2】 インクリボンロールの未使用状態を示す斜視図である。

【図3】 蓋部を開いた状態のインクリボンカセットを示す斜視図である。

【図4】 インクリボンの先端部をインクリボンロールから剥した状態を示す斜視図である。

【図5】 蓋部を閉じた状態のインクリボンカセットを示す斜視図である。

【図6】 インクリボンカセットを熱転写記録装置等に装填する時の組立斜視図である。

【図7】 インクリボン巻き取り軸を示す斜視図である。

【図8】 この発明の実施の形態2による摘み部を設けたインクリボンロールを示す斜視図である。

【図9】 この発明の実施の形態3による貫通穴を設けたインクリボンに片面粘着テープを貼付する状態を示す組立斜視図である。

【図10】 この発明の実施の形態4による印刷糊を設けたインクリボンロールを示す斜視図である。

11

12

【図11】 この発明の実施の形態5によるインクリボンが収納ケースに貼付された状態を示す斜視図である。

【図12】 インクリボンを収納ケースから剥して引き出した状態を示す斜視図である。

【図13】 この発明の実施の形態6による切り起こし部の形成されたインクリボンカセットの未使用状態を示す斜視図である。

【図14】 切り起こし部の切り起こしの前後の状態を示す部分斜視図である。

【図15】 従来のインクリボンカセットを示す斜視図である。

【図16】 従来のインクリボン巻き取り軸を示す正面

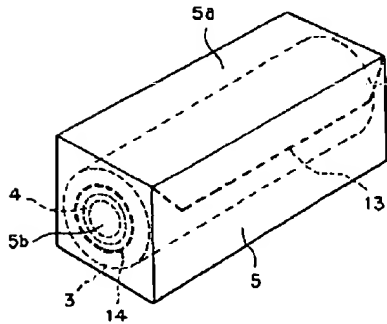
図である。

【図17】 従来のインクリボンカセットを熱転写記録装置に装填する際の組立斜視図である。

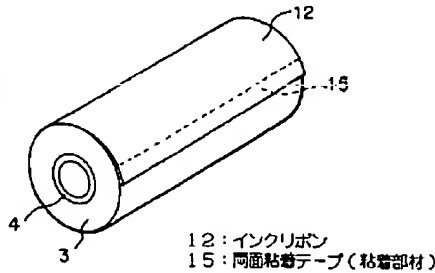
【符号の説明】

3 インクリボンロール、4 ロール軸、5 収納ケース、5a 蓋部、5b 切り取り穴部、6 インクリボン巻き取り軸、12 インクリボン、12a 摘み部、13, 14 ミシン目、14a, 16 貫通穴、15 両面粘着テープ（粘着部材）、17 片面粘着テープ（粘着部材）、18 印刷糊（粘着部材）、19 軸心、20 位置決め用の印、21 開口部、22 切り起こし部。

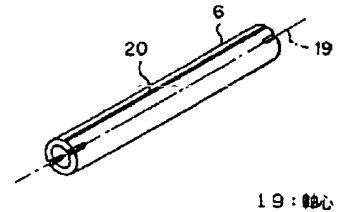
【図1】



【図2】

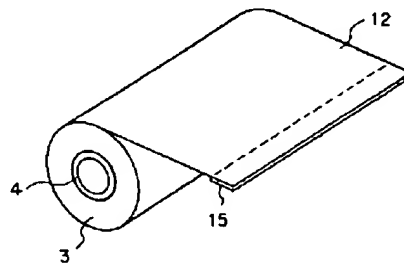


【図7】

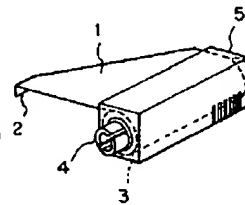


3: インクリボンロール
4: ロール軸
5: 収納ケース
5a: 蓋部
5b: 切り取り穴部
13, 14: ミシン目

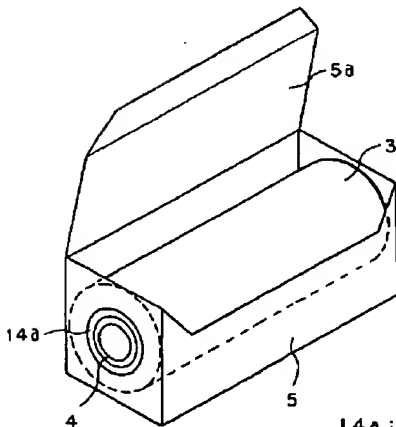
【図4】



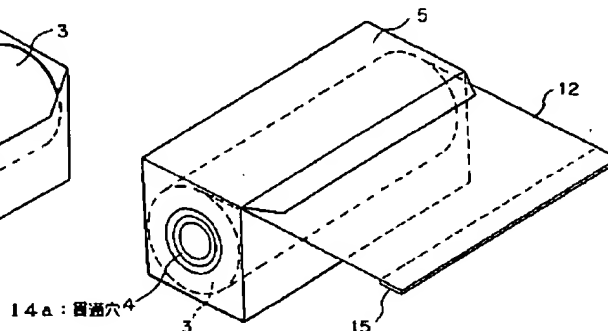
【図15】



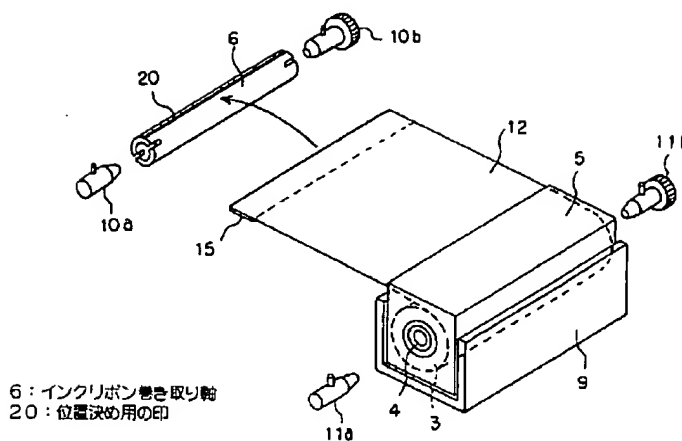
【図3】



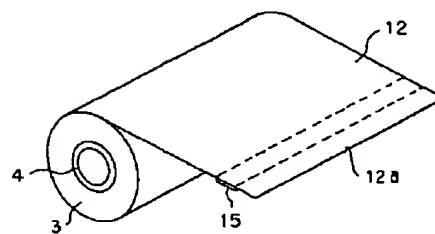
【図5】



【図6】

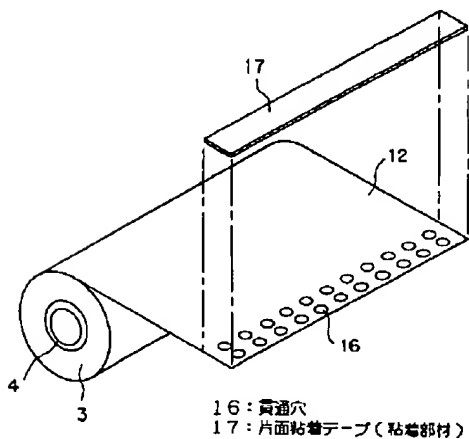


【図8】

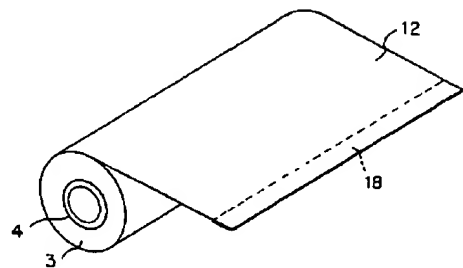


12a: 膈部

【例9】

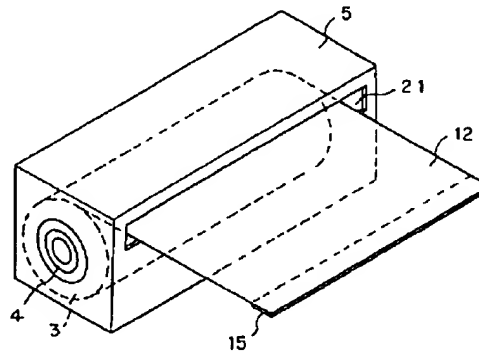


【☒10】

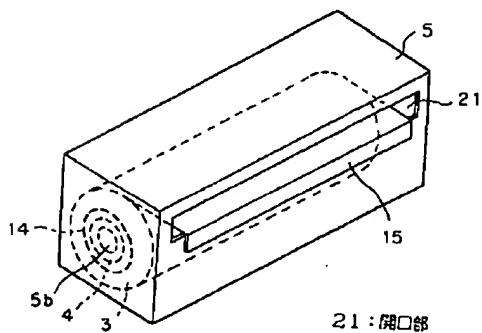


18:印刷糊(粘着部材)

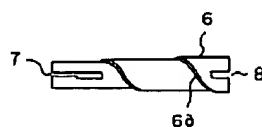
【図12】



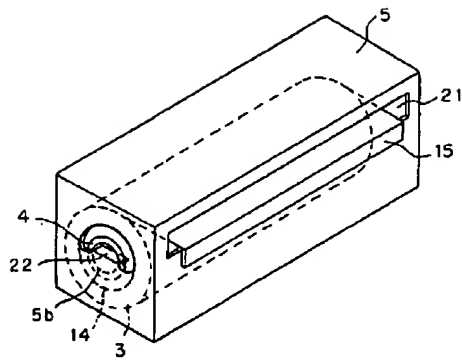
【図 1 1】



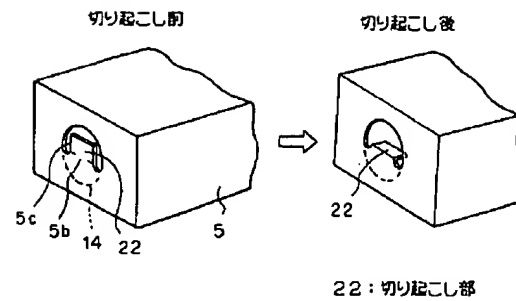
【图16】



【図13】



【図14】



22: 切り起こし部

【図17】

